受入基準／事前手続き等について

㈱和歌山建材リサイクルセンター

当社では環境影響への配慮を最優先とすると共に、廃棄物の適正処理を実践するために、以下に掲げる受入れ基準を満たした太陽光パネルの受入れとさせていただきます。また、お持ち込み、受入れに際し、事前手続きの履行をお願いしております。
お客さまにはご負担をお掛けすることもあるかと存じますが、趣旨をご理解の上、何卒ご協力賜りますようお願い申し上げます。

受入基準

●パネル種類等による受入可否　　【○：受入可　△：程度等により個別判断　×：受入不可】

パネルの種類	状態・メーカー等の条件	受入可否	備考
①液晶シリコン系（単結晶・多結晶）	以下に掲げる以外のパネル	○	
	軽度の汚れのあるパネル	○	
	濡れているパネル	△	程度により受入可
	損傷、破損、変形したパネル	△	ガラス面のひび割れ程度は可。シート迄貫通した穴あきは不可。著しい損傷、変形は不可
	補強アルミ枠が付いたパネル	△	受入れ可能でも、別途取り外し費用が発生します
	強粘着性のシーリング材使用のパネル	△	三菱・カネカ・京セラ等
	化学強化ガラス使用の軽量パネル	△	東洋アルミニウム・フジプレミアム等
	火災現場から発生のパネル	×	
②海外メーカー製	メーカーが海外のパネル	△	製品のパネル構造等で判断
③化合物系（CIS／CIGS／CdTe）	ソーラーフロンティア社製 ファーストソーラー社製　等	△	処理枚数等で判断
④シリコン系非結晶	アモルフォスシリコン使用の薄型パネル	×	
⑤有機系薄型パネル	パネルが薄く曲がる	×	
⑥太陽熱温水器付き	パネルの他に温水（給湯）タンク付き	×	
⑦両面ガラス		×	

●受入可能なパネルのサイズ（※アルミ枠含む外寸）

L：1,600～2,400mm　×　W：800～1,200mm　×　T：35～55mm

受入基準

●お持ち込みされる太陽光パネルの仕様書、WDS（廃棄物データシート）、SDS（安全データシート）等によるパネルの情報提供をお願いいたします。（メーカー名、型式、パネルサイズは必須です。製造年や有害物質の含有状況などの情報もあればご提供いただければ幸いです。）

【ご参照】『使用済太陽電池モジュールの適正処理に資する情報提供のガイドライン』（JPEA）

●上記の受入基準を充足し、ご提供情報をもとに受入れが可能となりましたら、廃棄物処理法に準拠し「産業廃棄物委託処理契約書」の締結をお願いいたします。なお、お持ち込みの際は「産業廃棄物管理票（マニフェスト伝票）」の交付（※）、運用を確実にお願いいたします。委託契約締結前のお持ち込み、マニフェスト伝票の交付がない場合のお引き受けは一切できません。

（※）廃棄物の種類は「廃プラスチック類」・「金属くず」・「ガラスくず」にチェック（○付け）をしていただき、備考欄等に「太陽光パネル」、「太陽光モジュール」と具体的な名称を必ずご記載下さい。

【ご参照】『太陽光発電設備を廃棄処理する際の留意点について』（環境省）

裏面に続く

保管時のお願い

●感電のおそれがありますので、配線の絶縁処理（ビニールテープ巻き等）をお願いいたします。

●受光（モジュール）面に光が当たると発電するため、受光面を下に向けて保管して下さい。

●パネルの水濡れがないようにご配慮下さい（シート掛け等をお願いいたします）。

お持ち込み時のお願い

パネルの荷降ろしではフォークリフトを使用します。そのため、以下の点にご協力下さいますようお願いいたします。

●搬入車両は原則として「平ボディ車」として下さい（荷台のあおりがきれる車）。また車両長は、最大９メートル以内の車両でお願いいたします。

●パネルを積載する際は、荷台へのパネルのべた積みをお避けいただき、荷台と最下段のパネルの間に10cm程度の空隙（すき間）ができるように、積載くださいますようお願いいたします。

●雨天時はパネルを濡らさないために、必ずシート掛けをしてお持ち込み下さい。

●荷降ろし時の荷崩れ防止の為、積載するパネルは荷締めベルト等を用いて、パネルを固定してお持ち込み下さい。

●計量場所（本社工場）と荷降ろし（第2工場）は、別々の場所となります。お持ち込みの際は、まず計量場所にお越しいただき、計量を済ませてから荷下ろし場所にご移動下さい。（別紙・案内図をご参照下さい）

●初めてお越しのお客様等で空車（風袋）重量の登録がない車両の場合は、荷降ろし後に再度、空車の計量が必要になります。必ず、本社工場にて空車計量をしてからお帰り下さい。

以　上

★お持ち込みに際してご不明な点はお手数ですが、下記までお問い合わせ下さい★

(株)和歌山建材リサイクルセンター
☎073-446-3196